

# 問題冊子

令和6年度 一般選抜(前期)

小論文(和文・英文)

試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答冊子を開いてはならない。

## 注意事項

1. 小論文では、問題冊子および解答冊子の2種類が配付される。
2. 試験開始の指示があるまで、筆記用具を持ってはならない。
3. 試験開始後、解答冊子の表紙および解答冊子の中の3か所、合計4か所の記入欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 試験開始後に問題冊子および解答冊子の印刷不鮮明、ページの落丁等の不備等を確認しなさい。これらがある場合には手を高く挙げて監督者に知らせること。
5. 解答は解答冊子の該当箇所に記入すること。
6. 下書きは解答冊子にある下書き用紙を利用すること。
7. どのページも切り離してはならない。
8. 質問等がある場合には手を高く挙げて監督者に知らせること。
9. 試験終了の指示があったら直ちに筆記用具を机の上に置くこと。
10. 試験終了の指示の後に受験番号、氏名の記入漏れに気づいた場合には、手を高く挙げて監督者の許可を得てから記入すること。許可なく筆記用具を持つと不正行為とみなされる。
11. 試験終了後、解答冊子は回収される。
12. 問題冊子の問題は1～6ページである。



# 小 論 文

1 次の文章を読んで、後の問い(問1)に答えよ。

あわ  
粟ぜんざい——神田〔竹むら〕

(略)

私たちの若いころは、酒を酌みかわす友だちと、汁粉屋へ入って映画や文学を語り合う友だちと、おのずから二つの派に別れていたようだ。

私が、その両方を使いわけることができたのは、甘味もきらいではなかったのだろう。

勤めている店に近い日本橋の〔梅むら〕や浅草・奥山の〔松邑〕などが、私の行く汁粉屋で、酒のほうの友だちは、

「ちょっと、寄って行こう」

私が誘うと、

「いいかげんにしろよ」

いかにも軽蔑しきったような顔つきになり、吐き捨てるようにいう。

酒のみは、甘いものなぞへ振り向くものではないと、おもいこんでいたからだろうが、それも若者の一つの見栄のようなもので、

「酒の後の汁粉が、こんなにうまいとは知らなかった」

びっくりしたようにいった友だちもいた。

(略)

東京の汁粉を、京阪では〔ぜんざい〕というのだそう。

東京で〔ぜんざい〕といえば、汁粉よりも、こってりと熱い小豆餡に栗や栗をあしらって出す。

ことに、栗ぜんざいは私の好物だ。

(略)

香ばしい栗と、ほどよい小豆餡のコンビネーションは何ともいえぬ。もっとも、栗が出まわる季節にかぎられているのだが……。

若いころは、いくら食べたくとも、女の客で充満している汁粉屋へ入るのが、

(見つともない……)

ような気がして、身をちぢめて食べ、食べ終るや脱兎のごとく逃げ出したものだ。

しかし、六十に近い年齢となったいまは、女がいようが子供がいようが、かまったものではな

い。

一年ほど前の冬に、竹むらへ入ろうとして、戸へ手をかけたら、中から初老の男が出て来て、  
「や、正ちゃん！」

と、叫んだ。

十年ほど会わなかった、少年時代からの友だちだった。

この男は、汁粉屋へ行く私に、

「いつになったら、お前のバカは癒<sup>なお</sup>るんだ」

と、いったことがある。

十年前に会ったときも、酒をのみながら、

「まさか、いまだに、妙なものをやっているのじゃあないだろうね？」

というので、

「やってるよ。どうだ、帰りに竹むらへ行こうか？」

「冗談じゃあない。お前さんのバカには、あきれほかないね」

その友だちが、ほかならぬ〔竹むら〕から出て来たのだから、私もおどろいたが、相手は尚更<sup>なおさら</sup>  
に立ちすくんだ。

「この竹むらで、何を食ってきた？」

私が切りつけるようにいうと、友だちは、

「う……う、う……」

ぐっと詰ったが、蚊が鳴くような声で、

「ぞ、雑煮<sup>ぞうじ</sup>だ。此処<sup>ここ</sup>の雑煮はうまい」

と、いう。

「嘘<sup>うそ</sup>をつけ」

「嘘なもんか」

「口の端<sup>はた</sup>に、ぜんざいがくっついている」

「えっ……」

ぎょっとして、つぎには狼狽<sup>ろうばい</sup>して、口の端<sup>て</sup>を掌<sup>こす</sup>で擦った友だちへ、

「お前のバカは、いつからなんだ？」

問いつめた私へ、友だちは泣き笑いを浮かべ、

「今夜から……」

「いや、一散<sup>いっさん</sup>に、交通博物館の方へ逃げ走って行った。」

友だちの口の端には、はじめから何もくっついてはいなかったのである。

(『むかしの味』池波正太郎著、新潮文庫より一部改変)

問 1 下線部ア「友だちは泣き笑いを浮かべ」走って逃げて行ったのはなぜか。200字以内で説明しなさい。

- 2 次の文章を読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。なお、文中の [ ] は設問の都合上、伏せてある箇所を示す。

「嘘だ」とは言えませんが、多くの場合人をだますために使われるのが「誤誘導」あるいは「ミスリード」です。正しいことを言っているかもしれないが、誤解させ、正しくない、正確ではないことを信じさせようとするような発言です。次の例では、話し手が、そうは言ってはいませんが、三角二重カッコ(《 》)の中の内容を聞き手に思わせようとしています。

### 誤誘導の例

- a 消防署の方から来ました。

《消防署の人だな》

(消防署の方角からやってきて、消防署から出発したとは言っていないので嘘ではない)

- b 課題やったの？

—うん、今やってるよ。

《 A 》

(課題をまったくやっていないが、一応何が課題か確認したという意味では、開始はしているので、現在進行形で課題を進めているわけで嘘ではない)

このような言い草が(二つ目は学生が誤誘導の例としてしばしばあげてくれるものです)、かなり厳しい言い訳であることは誰の目にも明らかだと思います。「課題をやった」と嘘をつくことが悪質な場合、「今やっている」と苦し紛れに言うことは、どれほどマシなのでしょうか。

善意の嘘の例で確認したように<sup>出題者注</sup>、動機や結果の善し悪し次第で、嘘は必ずしも悪くありません。誤誘導に関してもそれと同様に、学校の宿題程度なら、苦笑を誘って済むでしょうが、動機や結果次第で、誤誘導もきわめて悪質な行為となりえます。

たとえば、次のような例を言語哲学者ジェニファー・ソールがあげています。誰かが遺産目当てに、ピーナッツアレルギー持ちの人を殺害しようと、ピーナッツ油で調理したエスニック風味め物を出したとしましょう。念のための確認として「ピーナッツ入ってないよね？」と聞かれ、以下のどちらかを言ったとします。

### [ ] の例

- a ピーナッツの粒なんて全然入ってないよ！

- b 食べても絶対安全だよ！

(『悪い言語哲学入門』和泉悠著、ちくま新書より一部改変)

出題者注：この設問の文章より前の部分で説明された別の話題を指す。

問 1 空欄 A に入る、適切な内容を書きなさい。

問 2 下線部アの発言と、下線部イの発言は、一方が嘘で、もう一方が誤誘導となっている。どちらの発言が誤誘導であるかアまたはイを記載した上で、なぜその発言が嘘ではないと言えるのか、話し手は聞き手にどのようなことを思わせようと意図しているのかを、100 字程度で説明しなさい。

3 次のケア (care) についての文章を読んで、後の問い(問 1 ~ 3)に答えよ。

When I say “care,” I don’t mean only healthcare, childcare, and caring for the elderly. I don’t mean only finding a babysitter on a website called Care.com. I mean, as Berenice Fisher and I defined it some time ago, “in the most general sense, care is a species activity that includes everything we do to maintain, continue, and repair our world so that we may live in it as well as possible. That world includes our bodies, our selves, and our environment, all of which we seek to interweave in a complex, life-sustaining web.”

Usually, when people hear this definition, they are a little stunned. It is *so* broad; it seems as if almost everything we do touches upon care. This is true: care shows up everywhere in our lives. Now, we don’t usually think of care on this broad and most general level. Particular care practices — for example, performing brain surgery or teaching middle school — all have different, defining elements.

What they have in common, though, is an effort to keep their corners of the world going by doing laundry, planning the financial support of an intellectually disabled adult, preparing children’s lunches, and so forth. Care is about meeting needs, and it is always *relational*: the skinned knee of a child who fell off his bike isn’t only about scratches and germs, it is also about creating the conditions for him to feel safe in the world.

**A** In some caring practices, the requirements are clear. Physicians and engineers are obliged to meet a standard of care that accords with the best scientific evidence. Yet at a more general level, the standards of care accord with society’s values. And these change; what was corporal punishment a generation ago is more often called child abuse now.

(Adapted from *Who Cares? How to Reshape a Democratic Politics*, by Joan C. Tronto, Cornell University Press, 2015)

問 1 下線部アの示す内容を 100 字以内の日本語で説明しなさい。

問 2 下線部イを日本語に訳しなさい。

問 3 空欄 **A** には、次の意味の英文が入る。空欄に入る適切な英文を書きなさい。

ケアの与え方、受け方については、全員の意見が一致しているわけではない。「できるだけよく生きられるように」という基準そのものが、非常に多義的である。